

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名		電子申請等共同受付システム構築事業		担当部署	企画総務部 総務課	
総合計画体系				根拠法令計画など	高度情報通信ネットワーク社会形成基本法	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		事業期間	開始	平成 ▼ 14年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと				終期
(小項目)		情報の共有化				
施策	4	情報の共有化の推進				
基本事業	3	ICTを活用した市民サービスの推進				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 ・市民 ・市が受け付ける申請・届出に関わる業務						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	市民が時間・場所等の制限を受けることなく、申請や届出を行うことができる。また、市にとっても記入ミス防止や確認作業の短縮化により、効率的な業務の遂行が可能になる。						
事業計画	30年度に何を計画していたか	担当課と調整し、手続件数の増加をはかる。また、マイナンバーカードに格納される公的個人認証サービスを利用した電子申請の手続きについても検討していく。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位
		電子申請・届出利用件数	220	170	170	170	170	件

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	昨年度の状況を踏まえ、手続件数を増加させるために電子申請に適しているような手続きはないか調査を行い、既存の手続きに関しても、より利用しやすいものになるよう見直しを行った。また、健康教室の参加申込や特定健康診査の受診申込等の9件の手続きについて、電子申請の受付を開始した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 手続件数	25	34	35	36	37	件
	2						
成果指標 対象にどのような効果があつたかを示す指標	電子申請・届出利用件数	155	340	—	—	—	件
	目標達成率(実績/目標)		200.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	平成30年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	0	0	0	571	571
		補正予算額		0	0	0	0	0	0
		繰越予算額		0	0	0	0	0	0
		全体予算額		0	0	0	0	571	571
		決算額		0	0	0	0	571	571
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)	総人件費		総事業費		
			0.1	0.0	732		1,303		

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：電子申請等共同受付システム構築事業】

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	571	571	574	574	574
	うち一般財源	571	571	574	574	574
	人件費	723	732	732	732	732
	総事業費	1,294	1,303	1,306	1,306	1,306

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		電子申請は時間、場所にとらわれることなく申請でき、迅速な処理を行うことができることから、市民の利便性の向上につながるものである。
	効率性	B:概ね効率的だった		当該事業は、協議会が主体となり、県及び県内全市町村が負担金を拠出して参加しているため、事業費等を削減することは難しい。
②成果に対する評価	指標名	電子申請・届出利用件数		乳がん検診等の受診申込件数の増加により、目標件数を大きく上回ったため。
	目標	170	件	
	実績	340	件	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		申請件数の増加に加え、電子申請が活用できる申請については手続きを開始するなど、一定の成果を上げている。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本市においては、既に手続きのひとつとして根付いているものであり、必要な手続きとなっている。更なる申請件数の増加を図るため、若年層や中年層のインターネット利用率が高い世代に電子申請が普及するよう努めるとともに、子育てワンストップサービス等のマイナンバー制度を活用したワンストップサービスによる電子申請についても有効に活用していく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	前年度の利用状況を踏まえ、手続件数及び届出利用件数の増加をはかる。			
	R2年度	前年度の利用状況を踏まえ、手続件数及び届出利用件数の増加をはかる。			